

## 水戸で集会とデモ！ 戦争法廃止！安倍政権打倒！

### 「選挙に行こう・政治を変えよう」の声響く！



参議院選挙公示日前日の6月21日（日）、「戦争法廃止を求める茨城県民連絡会」と「茨城県市民連合」共催の「選挙にいこう！未来を変えよう！茨城県民共同アクション・トーク＆パレード」が水戸で開催されました。

午後6時から水戸駅北口のデッキで集会。「連絡会」代表の茨城大学名誉教授の田中重博さんは「主権者は私たち市民だ。市民の手で野党の勝利をめざし、安倍政権の独裁と戦争の道にノーを突きつけよう。」と訴えました。「市民連合」共同代表・前東海村村長の村上達也さんは「桜川市で地域市民連合が立ち上がった。会長は市の商工会長だ。県民の意識の高まりを感じる。私たちは戦後70年間平和を守るたたかいに勝利し憲法を守ってきた。今手放すわけにはいかない。選挙に行って日本の未来を変えよう」と呼びかけました。



その後、「アット・ソーダ・いばらき」共同代表の花山さん、「農民連」の川澄さん、「新婦人」の吉田さん、弁護士の丸山さん等6人が、憲法改悪反対、TPP締結するな等を訴えました。市民連合共同代表の先崎さん、二見さんも挨拶し、安倍政権打倒を訴えました。政党では日本共産党の参議院議員候補・小林恭子さんが参院選勝利を訴えました。170人余が参加しました。

午後7時からはパレード。東海第二原発廃炉訴えている金曜行動を継続している若者を先頭に、宮下銀座から南町の自由広場までの約1kmを「戦争法は今すぐ廃止」「安倍政権は今すぐ退陣」「選挙に行こう」など、市民に呼びかけました。参加者は200人余でした。



## 鉢田九条の会学習会に、県平和委員会が講師として参加！

### 「戦争する国づくりは許せない」の思い強く！

平和新聞購読申し込み1部と会員1名の加入がありました！



6月18日（土）午後1時半から、鉢田市中央公民館で、戦争法廃止2000万署名の取り組みの交流を軸に、「どこまで広がりどこまで来たか」を柱にして、「鉢田九条の会」交流会が開催されました。鉢田市全体の署名が3000筆に到達したことも報告され、その半数を鉢田九条の会が集約しました。

県平和委員会から、木村事務局長が参加し、①全国の情勢を受けた県と地域の総がかり行動、②総がかり行動を受けて「野党は共闘」の声で結成された「市民連合」の結成のいきさつ、

③県平和委員会の果たした役割、④今後の展望等を報告しました。

年配の人が多かった交流会でしたが、「戦争する国づくりは許せない」の思いは強く、自宅周囲の人たちのすべてを訪問して署名に取り組んだ経験、知人に郵便で要請した経験、自宅のポスターを貼って呼びかけた経験、さらに戦争体験などが交流されました。

九条の会の代表である星加さんは「多くの人が一生懸命に取り組んでいる。しかし事務局と個人のつながりはあるのに、横のつながりはほとんどなかった。今日は会員以外の方も参加している。お互いに顔を合わせただけでも元気が出てきた」と喜んでいました。

7月10日 参議院選挙 平和の選択を

改憲勢力に2/3議席  
とらせない。

憲法を守ろう

戦争法は廃止に 辺野古に新基地つくるな

VOTE for PEACE 日本平和委員会



6.19 沖縄  
県民大会（主催・オール沖縄会議）に6万5000人が集結！  
目標人数を大きく上回る



歓迎！新入会員のみなさんです。

よろしくお願いします。

- \* \* \* \* さん（常陸大宮市）
- \* \* \* \* さん（潮来市）
- \* \* \* \* さん（鉢田市）
- \* \* \* \* さん（水戸市）
- \* \* \* \* さん（茨城町）

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

平和新聞

2016年7月5日（火曜日）

2113号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No.751

2016.7.5

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 沖縄県民大会 怒り、悲しみは限界を超えた！ 県民が一つになり 海兵隊と新基地／ー！



「元海兵隊による残虐な蛮行を糾弾！被害者を追悼し、沖縄から海兵隊の撤去を求める県民大会」（主催：辺野古新基地をつくらせないオール沖縄会議）は、6月19日（日）、那覇市の奥武山陸上競技場で開催されました。6万5000人が集まりました。

黙祷ではじまった大会で、翁長知事は「これ以上の基地負担や県民の犠牲は許されない。県民の怒りは限界に達しつつある」と述べ、地位協定の抜本的見直しや基地の整理・縮小、辺野古新基地建設阻止に取り組む決意を表明しました。

## 被害者の父親がメッセージ。「全基地撤去」「辺野古新基地建設に反対」

被害者の父親が「辺野古新基地建設に反対」を訴えるメッセージを寄せました。

1分間の黙とうを終えたあと読み上げられた内容は、「・・・米軍人・軍属による事件、事故が多い中、私の娘も被害者の一人となりました。なぜ娘なのか、なぜ殺されなければならなかったのか。・・・次の被害者を出さないためにも『全基地撤去』『辺野古新基地建設に反対』。県民が一つになれば可能だと思っています。・・・」と訴えました。

## 玉城愛さん（21歳）挨拶 「人間の命こそ宝なのだという沖縄の精神に誇り」

喪服に白いリボンをつけ、主催者の一人として舞台に立った玉城愛さん（21歳）は、「安倍信三さん。日本本土にお住いのみなさん。今回の事件の『第二の加害者』は、あなたたちです。しっかり沖縄に向き合っていただけませんか。・・・パトカーを増やして護身術を学べば、私たちの命は安全になるのか。ばかにしないでください。軍隊の本質は人間の命を奪うことだと、大学で学びました。再発防止や綱紀粛清などという使い古された幼稚で安易な提案は意味を持たず、軍隊の本質から目をそらす貧相なもので、何の意味もありません。・・・大切な人が隣にいる幸せ、人間の命こそ宝なのだという沖縄の精神、私はウチナンチュー（沖縄の人）であることに誇りを持っています。・・・もう絶対に繰り返さない。沖縄から人間の生きる時間、人間の生きる時間の価値、命には深くて

誇るべき価値があるのだという沖縄の精神を、声高々と上げていきましょう」と決意を述べました。

## 海兵隊の撤去と米軍普天間基地の県内移設に反対する要求を決議！

今後のとりくみについて、オール沖縄会議共同代表の呉屋守将金秀グループ会長ら4氏は「大成功だった。海兵隊の撤退が重要で解決策ということを盛り込んだのは、沖縄の政治史に大きな重みを残した」「県民に寄り添わない政治家は責任を問われる。我々は沖縄の政治史から、そういう先生方を更迭するくらいの強い気持ちを持っている」と述べました。

集会は海兵隊の撤去と米軍普天間基地の県内移設に反対する要求を決議しました。また、主催者によると、この県民大会に呼応した集会やデモが、41都道府県69ヶ所で開催されました。



6.19茨城県平和委員会大会では、日常の取り組み以外に、今年度のとりくむべき課題として以下の項目が上げられました。今後具体化して行きます。

- ◆ 百里基地反対闘争60周年記念の開催  
・闘いは糺余曲折がありましたが、今年は60周年に当たります。
- ◆ 平和委員会再々建25周年の集い
- ◆ 戦争と平和展の新パネル製作
- ◆ 「ピースエッグ大阪」（9月）
- ◆ 「平和大会・in青森」（10月）

## 茨城からも安倍政権NOの声を！ 若者憲法集会に参加してきました！

5月15日、都内で若者憲法集会が開催され、茨城からは原水協、平和委員会、農民連、民青同盟の4団体で実行委員会をつくり、11人の青年が参加してきました。若者憲法集会は一昨年から開催されている催しで、今年は全国から1100人の仲間が集まりました。安倍政権の暴走が青年のくらしと平和を脅かしているなかで開催された今年の集会では、「戦争法廃止」「安倍政権打倒」を旗印に奮闘する全国の仲間が連帯を深めることができました。分科会「戦争法vs.憲法9条～この国の未来をどちらに委ねるか～」に参加した同盟員は、「戦争法は何度もテレビで取り上げられていましたが問題なのかよくわからなかった。話を聞いて危機感をもつことができた」と感想を寄せてくださいました。また、若者憲法集会に初めて参加してくれた青年が、民青同盟への加盟を決意してくれました。今回の取り組みの成功を、今後の活動の励みにしながら頑張っていきたいと思います。集会の取り組みを通じて、青年を送り出すにあたってたくさんの募金をいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

民青同盟茨城県委員会（高橋）

- ◆ 沖縄問題対策委員会の結成
- ◆ 非核平和都市宣言にふさわしい取り組みを自治体と話し合う。
- ◆ 会員獲得と組織の強化
- ◆ 新組織の結成と既存組織の活性化をはかる
- ◆ 茨城の自衛隊の基地の実態調査と報告
- ◆ 平和関係施設の確認と紹介
- ◆ 戦争体験談の募集と編集
  - ・昨年度の事業の積み残しになります。原稿の協力をお願いします。